

# EDITORS' CHOICE

『全問正解する TOEFL ITP® TEST 文法問題対策』

## あの「満点マニュアル」が帰ってきました！

TOEFL 受験者の強い味方として定評の高かった『TOEFL Test ITP 文法問題対策満点マニュアル』が最新の形式・傾向に対応しました。タイトルも改め、心機一転。新たな定番として語研から刊行です。

本書は、ベレ出版・南雲堂フェニックスから刊行されていた『TOEFL Test ITP 文法問題対策満点マニュアル』を最新の出題形式・出題傾向に即して改訂し、加筆修正したものです。

著者：林 功

判型：A5判

定価：2,200円（本体2,000円）

ISBN：978-4-87615-253-7

好評発売中！

ペーパーテスト式  
団体受験プログラム

# 全問正解する TOEFL ITP® TEST 文法問題対策

LINGO L.L.C.代表

林 功



語研

TOEFL and TOEFL ITP are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS).  
This publication is not endorsed or approved by ETS.

ペーパーテスト式  
団体受験プログラム

# 全問正解する TOEFL ITP® TEST 文法問題対策

LINGO L.L.C.代表

**林 功**



**語研**

TOEFL and TOEFL ITP are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS).  
This publication is not endorsed or approved by ETS.

[全問正解するTOEFL ITP TEST文法問題対策 ためし読み Webページへ](#)

本書は、2002年ベレ出版から刊行された『TOEFL® TEST 英文法徹底対策』、2007年南雲堂フェニックスから刊行された『TOEFL® Test ITP 文法問題対策満点マニュアル』を一部加筆・修正し再刊行したものです。

## はじめに

2002年の初版刊行以来、約10年にわたってTOEFL文法問題対策本として、受験者のみなさんと先生方から圧倒的な信頼をいただいていた本書が、この度、(株)語研より『全問正解するTOEFL ITP® TEST文法問題対策』という新たなタイトルで復活しました。これはひとえに、これまでAmazon.co.jpやその他のサイト、ブログに寄せられた合計70以上にも及ぶ読者(受験者と先生方)レビューにも反映されている本書への熱烈な支持によるところが大きいと、筆者は心から感じております。

「正解にたどり着ける楽しさ」と「わかる喜び」を同時に体感させてくれるのが、まさに本書の最大の特長です。実際の本試験問題を約1,000題以上分析し、日本人の間違いのパターンを的確に分類して搾り出した《パワフル・コード(27個の合言葉)》は、いつもある種の驚きを持って読者に迎えられました。本書内に散りばめられた27個のパワフル・コードを使えば、すばやく正しい英文を完成したり、正しくない英語を的確に指摘したりするための「着眼力」を体得することができます。

さて、今回の出版は、幸運なことに(株)語研の島袋一郎編集部代表の知遇を得て実現しました。本書のコンセプトに対する島袋氏の深い理解と出版のためのご尽力に、この場を借りて心よりの感謝を表明したいと思います。尚、出版に際し、本書の解説におけるややくだけた語り口の修正を、島袋氏によほど申し出ようと迷いましたが、本書が生まれた現場である実際のクラスの雰囲気と生徒たちとのやり取りや勢いといった臨場感を消し去るのはもったいないと考え直し、なんとか思いとどまりました。

最後に、すばやく的確な英文把握力を身につけて日本の外へ打って出ようとする方々に申し上げます。本書を何度も読み直すことを通して、本試験会場や外国のキャンパスにおいて、驚くほど英文の構造が即座につかめ、今まで気がつかな

かった英文の誤所がハッキリと浮かび上がってくる時、パワフル・コードの切れ味は、いわゆる対策本の表面的なそれとは明らかに違って常に斬新であることを、快く痛感されるものと確信しております。

2012年4月

桜の散りどきを気にしながら

林 功

# 目次

## Chapter I

## TOEFL ITP® 文法問題：解法の大前提

- 1 TOEFL ITP® とはどんな試験なのか? ..... 10
- 2 TOEFL ITP® のセクション別構成 ..... 11
- 3 Small Tips on Each Section  
(セクション別ワンポイント・アドバイス) ..... 11
- 4 TOEFL ITP® 文法問題の形式と出題意図 ..... 13
- 5 TOEFL ITP® 文法問題満点達成への大前提 ..... 14

## Chapter II

## Powerful Code

- 1 Powerful Code で解くための視点をつかむ ..... 18
- 2 Powerful Code で知識を最大限に活かす ..... 18
- 3 《解説地獄》に陥らないために ..... 19
- 4 苦手コードは必ずチェック ..... 19

### Part A Structure (空所完成問題) ..... 21

Powerful Code 1 動詞のない英文はない ..... 22

Powerful Code 2 英文はカンマだけではつなげない ..... 26

Powerful Code 3 前置詞で始まる主語はない ..... 35

Powerful Code 4 名詞 2 個、接続詞なしなら同格! ? ..... 39

Powerful Code 5 主語の一致は英文の大原則 ..... 43

Powerful Code 6 出る相関句は決まっている ..... 50

<b>Powerful Code 7</b>	受身の感覚を大切に.....	54
<b>Powerful Code 8</b>	倒置の語順は疑問文とほぼ同じ.....	58
<b>Powerful Code 9</b>	語順のチェックは軸が大切.....	62
<b>Powerful Code 10</b>	並列構造を常に意識せよ.....	65
<b>Powerful Code 11</b>	前置詞は意味よりも前後の形に注目.....	69
<b>Powerful Code 12</b>	イディオムも出たら確実に取る.....	75
空所完成応用演習	(基礎レベル).....	78
空所完成応用演習	(基礎レベル) 解答・解説.....	83
空所完成応用演習	(標準レベル).....	92
空所完成応用演習	(標準レベル) 解答・解説.....	97
空所完成応用演習	(やや難レベル).....	107
空所完成応用演習	(やや難レベル) 解答・解説.....	112
<b>Part B</b>	Written Expression (誤所指摘問題).....	122
<hr/>		
<b>Powerful Code 13</b>	まず動詞に注目せよ.....	123
<b>Powerful Code 14</b>	SV の一致にこだわれ.....	127
<b>Powerful Code 15</b>	since を見たらまず現在完了.....	132
<b>Powerful Code 16</b>	相関句は手袋みたいなもの.....	135
<b>Powerful Code 17</b>	品詞の適正に注目.....	140
<b>Powerful Code 18</b>	A, B, and C は形を揃えよ.....	146
<b>Powerful Code 19</b>	to do か doing か to doing か?.....	151
<b>Powerful Code 20</b>	この名詞は「物」か「人」か?.....	157
<b>Powerful Code 21</b>	下線部の代名詞はかなり怪しい.....	162



<b>Powerful Code 22</b>	語順には基準がある.....	166
<b>Powerful Code 23</b>	「美しい美人」はしつこい.....	172
<b>Powerful Code 24</b>	名詞の単複はヒネリに注意.....	176
<b>Powerful Code 25</b>	前置詞なら前の動詞か形容詞、後の名詞に注目	182
<b>Powerful Code 26</b>	冠詞は素直でヒネリなし.....	187
<b>Powerful Code 27</b>	イディオムは忘れた頃にやってくる.....	192
<b>Crux 1</b>	FANBOYS って何? .....	30
<b>Crux 2</b>	過去分詞で始まる分詞構文は元の文が受身.....	47
<b>Crux 3</b>	like, unlike, alike の識別 .....	72
<b>Crux 4</b>	下線のない部分は絶対に正しい .....	130
<b>Crux 5</b>	than が出てくる3つの場合.....	138
<b>Crux 6</b>	場所だから where, 理由だから why とは限らない .....	143
<b>Crux 7</b>	-ly でも時には形容詞がある.....	149
<b>Crux 8</b>	でる・でた名詞 — 「物」・「人」編.....	160
<b>Crux 9</b>	不可算名詞で頻出語は? .....	180
<b>Crux 10</b>	時々出る do と make の混同 .....	196
	誤所指摘問題応用演習 (基礎レベル) .....	198
	誤所指摘問題応用演習 (基礎レベル) 解答・解説 .....	202
	誤所指摘問題応用演習 (標準レベル) .....	209
	誤所指摘問題応用演習 (標準レベル) 解答・解説 .....	213
	誤所指摘問題応用演習 (やや難レベル) .....	223
	誤所指摘問題応用演習 (やや難レベル) 解答・解説.....	228

Practice Test 1 .....	240
Practice Test 2 .....	249
Practice Test 3 .....	258
Practice Test 4 .....	267
参考文献 .....	277

**【装丁】** 山田英春

## 1 Powerful Code で解くための視点をつかむ

本書には全部で27個の Powerful Code (パワフル・コード) が散りばめられている。これらは、TOEFL ITP® TEST 文法問題を、可能な限り速やかに、そして的確に解くための、実戦に即した《暗号》とも《合言葉》とも言えるもの。各々の問題を解く場合に、もちろんいくつかのアプローチが可能だろうが、その中で最も速く、最もズバリと解ける方法をこのコード群が教えてくれると言ってもいい。

解法の大前提として「形に注目！」と早くも連呼したが(良いことは何度でもしつこく言うぞ!)、じゃあ、次に何の形に注目するのかと疑問に思う人が当然出てくるはず。そこだ! 正しい英文を完成したり、正しくない部分を指摘したりするために、まさに「英文のどこに目をつけるのか」をズバツと告げてくれるのが、この Powerful Code なのだ。

## 2 Powerful Code で知識を最大限に活かす

筆者は、日本の高校2年生程度までの英文法・語法に関する知識を身につけた人なら、やり方次第で、誰でも TOEFL Section 2 で全問正解が達成できると本気で信じている。その根拠は、まず Section 2 では、「意味」より「形」が重要だということ。つまり、単語の意味は分からなくても英文の間違いに気づくことはできるから、単語力はそれほどハンデにはならないということ。実際、英語好きの社会人よりも、英語を習いたての中学1年生のほうが3人称・単数・現在の動詞のsが抜けていることに素早く気がついたりすることもあるわけだ。ただし、高2程度までの英文法・語法力で Section 2 満点を達成するためには、手持ちの知識をすべてもれなく、的確に活用できなければならない。そのために、自らの TOEFL 受験体験はもとより、TOEFL Section 2 本試験問題の内容、教室で生徒さんたちが陥る間違いの数々の傾向などを基に、先入観にとらわれず、見、聞き、考え、確認しながらコンパクトにまとめ上げたのがこの27個のコードである。

実際、これらのコードを繰り返し反芻し脳裏に焼きつけることによって、TOEFLの文法全問正解を達成した生徒さんたちは数多い（もちろん筆者自身もです）。

### 3 《解説地獄》に陥らないために

模擬試験の後で解説を見て、「あっ、これ知ってたよ。何で気がつかなかったんだろう」と悔しい思いをした経験は誰にでもあるはず。これを筆者は教室などで《解説地獄》あるいは《アソーカ症候群》（名称の由来は、恥ずかしいのでくどくど説明はしません）と呼んでいる。最初に問題を見たときは、速やかに自分の知識と問題の関連に気がつくことができないのだが、後になって解説を読むと「ふむふむ、知ってる、知ってる、実は知ってたよ。もったいない」となるわけだ。手持ちの知識をすべて漏れなく、的確に活用でき、しかも、《アソーカ症候群》に陥らなければ、全問正解は決して不可能ではない。だからこそ、前章で述べた「解法の大前提」をさらに実戦向きに具体化し、細分化した、Powerful Codeを十分に活用してほしい。27個のコードを一つひとつ丁寧に自分の声に定着させることによって、《TOEFLの文法満点》というジグソーパズルをしっかりと完成させよう。

### 4 苦手コードは必ずチェック

なるほど《TOEFLの文法満点》を一幅の大きなジグソー・パズル画だとするならば、この絵を完璧に仕上げるためには27枚のジグソーの一片一片を確実に埋めていく必要がある。最初からピッタリ収まる一片もあるだろうし、どうしても最後の方まで残ってしまうジグソーのカケラもあるだろう。この最後の方に残る、どうしても巧く収まらない数片こそが、つまり読者の苦手コードだ。

具体的に言うと、まずLevel Checkでそのコードへの自分の感触を確かめ、苦手そうなら特に念入りに説明を熟読すること。そして《応用演習》終了後、必ず間違った問題のコードをチェックし、自分はどのコードが苦手なのかを確認し、

集計して、もっとも誤答の多かったワースト5コードのページをもう一度読み直してみよう。必ずその過程が終わって、可能な限り苦手コードを脳裏&マブタに焼きつけてから **Practice Test** に進んでほしい。ただ闇雲に問題を解くのは、悪い解法(例:和訳を気にしすぎるとか)を定着させるだけで逆効果だから、くれぐれも避けたいやり方だ。もしもっと念入りに迫りたければ、**Practice Test 2** を解き終わった時点で再び苦手コードの集計を行い、また脳裏&マブタ&耳の奥への焼きつけ作業をやってから残りの **Practice Test** に挑んでほしい。間違った問題のパターンとその対処法(コード)をしっかりつかみ、それと似た問題に遭遇したときに素早く活かすこと、これが常に《TOEFLの文法満点》への極意ですよ。Okey-doke?

### ★ Powerful Code の理想的な活用法

- ① Level Check でコードの感触と自分との相性を確認
- ② 相性のよくないコードの解説は特に熟読
- ③ 《応用演習》を解答し間違った問題のコードを集計
- ④ 誤答の最も多かったワースト5コードの定着やりなおし
- ⑤ PracticeTest 1～2 を解答し、③④と同じ作業完結
- ⑥ PracticeTest 3～4 を解答し、誤答が少ないのに驚嘆(?)
- ⑦ 本試験で Powerful Code の威力確認

### 📢 Crux も確認しよう!

例えば「-ly で終わる形容詞もある」とか「than が出てくる3つの場合」、「like と alike の違いは」など、ちょっとした違いだが、あいまいで未解決、しかも正否を分けるという10の項目が、Crux(重要ポイント)として関連ページに挿入してあります。Powerful Code を知識面からサポートする隠し味ですから、コードを焼きつけるかたわら、これにも十分に気を配ってください。

## Part A Structure (空所完成問題)

弱点をピンポイント

### Level Check Test 1

Time: 3 minutes

Select the **one** choice which best completes the sentence.

1. The capacity for flight ----- insects from the other invertebrates.  
(A) to distinguish  
(B) distinguishes  
(C) having distinguished  
(D) distinguishing (A) (B) (C) (D)
2. Cedars ----- a particular variety of aromatic wood that repels insects.  
(A) which yields  
(B) yielding  
(C) yields  
(D) yield (A) (B) (C) (D)
3. Scholars ----- about 3,000 spoken languages.  
(A) were counted  
(B) have counted  
(C) counted them  
(D) having counted (A) (B) (C) (D)

# Powerful Code 1

## 動詞のない英文はない

動詞は英文の命。それこそ特殊な省略の場合を除けば、動詞（述語動詞）のない英文はまず存在しない。主語は命令文などで省略されることもあるが、動詞なしに英文の構造は成り立たない、と言い切ってもいい。学校の英語の授業で「まず主語を探しなさい」と長年教えこまれてきた方々、それは違う。いや、少なくとも英文を瞬時的に的確にとらえようとする場合、実践的ではない。「まず動詞を、つまりSVのVを探せ」、これがSection 2対策だけでなく、英語を読むため、書くための最も効果的なPowerful Code 1である。では、さっそく、レベルチェック1の問題を使って、この最重要コードをピシッと脳裏に焼きつけよう。

Test 1 解答 1. (B) 2. (D) 3. (B)

### 解説

1. The capacity for flight ----- insects from the other invertebrates.

- (A) to distinguish
- (B) distinguishes
- (C) having distinguished
- (D) distinguishing

The capacity から invertebrates まで口の中でぶつぶつ言うような感じでサッと目を通す。動詞がなさそうだと判断してすぐ選択肢へ、そして「動詞（述語動詞）のない英文はない」のCode 1に従って、選択肢を順に検討する。

- (A) : to 不定詞——動詞からできている（準動詞）だが、もはやV（述語動詞）にはなれない。
- (B) : 3人称・単数・現在形の動詞—The capacity が主語だと考えられる。
- (C) : ~ing 形—不定詞と同じように動詞からできている準動詞（動名詞または現在分詞）の完了形で、本物の動詞ではないからVにはなれない。
- (D) : (C) と同じ~ing 形でVとしては不適切。

故に正解は(B) distinguishes。このタイプの英文のVを問う問題は、それこ

そ選択肢の語句を変え、長さを変えて繰り返し出題される。空所完成問題満点を狙う人は、必ず30秒以内に正解できるように、解答手順に精通し、反応を速くしておきたい。

正解	問題文和訳
(B)	「昆虫は飛べるということで、他の無脊椎動物から区別される」

**2.** Cedars ----- a particular variety of aromatic wood that repels insects.

- (A) which yields
- (B) yielding
- (C) yields
- (D) yield

1とほぼ同じタイプ。文中に repels と「動詞かな？」と思われるものがあるが、that repels insects は wood にかかるから動詞ではあるが **V** ではないと判断する。

つまり英文として成り立つために **V** が必要。まず～ing 形の (B) を即座に消去！！ 順序が前後するが (A) では yields が which (関係詞) に呼応する動詞となるので、別にもうひとつ **V** がないと Cedars を主語とする英文としては成り立たない。結局は、Cedars (主語) に注目して複数形に呼応する **V** つまり (D) yield を選ぶ。この問題は **V** が入るべき空所の直前に一語しかないので [易] のレベル。cedar 「杉」は意味的にも知っておくべき単語だから、固有名詞だとは思わないだろう。故に必ず正解すべき問題。

正解	問題文和訳
(D)	「ヒマラヤスギからは昆虫を寄せ付けない独特な香りを持った木材がとれる」



**3. Scholars —— about 3,000 spoken languages.**

- (A) were counted
- (B) have counted
- (C) counted them
- (D) having counted

短い英文だから、一瞬で動詞がない (spoken は過去分詞) と判断できる。having に注目してまず (D) を除外し、(A)(B)(C) の取捨に移る。この際に、文中の about (「約～」の意の副詞) に惑わされないように。そして余計な要素を除くと、この英文が Scholars (V) languages. いわゆる S + V + O の文型になっていることに気がつくだろう。故に受身 (be + 過去分詞) ではない。(A) were counted が消える。(B)(C) は共に能動態だが、(C) では them が about 以下とダブってしまう。この問題で失点した人の多くは、about に惑わされて (C) を選んでいる。1, 2 に比べてこの問題の難易ランクが高い理由だ。

正解	問題文和訳
(B)	「学者たちは約 3,000 の言語を数え上げてきた」

Select the **one** choice which best completes the sentence.

1. A marathon race appeals to many people, ----- open to men and women of diverse ages and athletic abilities.
- (A) on account of  
(B) it is  
(C) since it is  
(D) because of
- (A) (B) (C) (D)
2. ----- is a term for the partial or complete inability to hear.
- (A) Deafness  
(B) There is deafness  
(C) It is deafness  
(D) Deafness which
- (A) (B) (C) (D)
3. ----- made the first United States flag is widely believed.
- (A) When Betsy Ross  
(B) That Betsy Ross  
(C) Betsy Ross  
(D) If Betsy Ross
- (A) (B) (C) (D)

## Powerful Code 2

### 英文はカンマだけではつなげない

「英文はカンマだけではつなげない」, すなわち, 接続詞か場合によっては関係詞が必要だ。ここで言う英文とは前述したように, 必ず述語動詞 **V** とほとんどの場合, 主語 **S** を持っている意味的に完結した英語の固まり, と言ったら, 分かりにくいかな。

例えば「私はジョンを訪ねたが, 彼は留守だった」を英文にすると:

I called on John, he was not at home. (×)

[カンマではつなげないから NG]

I called on John, but he was not at home. (○)

[接続詞 (but) があるから]

I called on John, who was not at home. (○)

[but と he の役割を同時に兼ねる関係代名詞 (who) があるから]

Test 2 解答 1. (C) 2. (A) 3. (B)

### 解説

1. A marathon race appeals to many people, ----- open to men and women of diverse ages and athletic abilities.

- (A) on account of
- (B) it is
- (C) since it is
- (D) because of

Powerful Code 2「英文はカンマだけではつなげない」を当てはめると, まず (B) が消える。race appeals ~の部分と it is ~の部分がそれぞれ英文らしき形をしているから, カンマではつなげない。間に接続詞 (because, as, since 等, 理由を表す語) が必要である。(A)(D) は共に「原因・理由」を表す群前置詞 (名前はど

うでもいい)で、後ろに英文が来ることはできない。前置詞というのは、すなわち「名詞の前に置かれる言葉」という意味だから、用語が苦手な人は **with Ron** とか **by me** なんかを思い出してあげればいい。

そこで、正解は (C) 英文を「理由」を表す **since** でつなぐことになる。ちなみに、ここはカンマがあってもなくても大差はない。もちろんカンマがなくても接続詞は必要。どんなに英文が長くても難解でも、とにかくシンプルに「カンマだけで英文はつなげない(接続詞か場合によっては関係詞が必要)」というコードで解く癖をつけてほしい。前述した「動詞のない英文はない」と併せれば、空所完成の7割はこの2つのコードで解けると言っても大げさではない。

正解	問題文和訳
(C)	「マラソンはさまざまな年齢や運動能力の男女に向いているので、多くの人々のお気に入りとなっている」

## 2. \_\_\_\_\_ is a term for the partial or complete inability to hear.

- (A) Deafness
- (B) There is deafness
- (C) It is deafness
- (D) Deafness which

Code 1 との組み合わせで、素早く、確実に正解できる問題。「空所の直後の is に注目して (A) を選ぶ。ハイ次！」でもいいが、念のために (B)(C)(D) も検討しよう。(D) は **which** (関係代名詞) が不要。(B)(C) はまさに Code 2 のタイプに対応している。

(B) (There is deafness) is a term ~

(C) (It is deafness) is a term ~

明らかに英文をカンマでつなぐのと同じ間違いを犯すことになる。

この問題はひねりがないから明らかだが、実戦においては勘違いもあるので、ひとつの選択肢だけを見て即決しないで、必ず他の選択肢にも目を通すこと。

なぜなら、場合によっては選択肢が (A) Deaf (B) There (C) It is deafness (D) Deafness which となっているかもしれない。その場合 (A) は形容詞で ✕。(B) が正解となる。空所完成問題満点達成には「石橋を(壊さない程度に)たたいて渡る」用心深さが必要だ。

正解	問題文和訳
(A)	「聾(ろう)は、部分的なあるいは完全な聴力障害者に対する用語である」

### 3. —— made the first United States flag is widely believed.

- (A) When Betsy Ross
- (B) That Betsy Ross
- (C) Betsy Ross
- (D) If Betsy Ross

[やや難] の問題。すぐに **made** と **is** に注目すべきところ。このどちらかが本物の **V** ということになる。もっとクリアに言えば、後の **is** が **V** でないと、この英文は成立しない。(C) Betsy Ross を入れると Code 2 に該当する誤文となる。

(C) Betsy Ross made the first United States flag is widely believed.

この文にはカンマはないが、カンマだけで英文(または動詞)をつないだのと同じ間違い(米国の大学などの Writing のクラスで **run-on sentence** や **comma splice** と呼ばれる)になる。この英文を見て「オカシイ」と思うなら OK。そうでなければ、もう一度じっくり見て、駄目なら、ごく基礎的な中学2年生程度の参考書を開いてみるか、筆者にメールをください。「カンマで英文はつなげない—接続詞か、場合によっては関係詞が必要」だったでしょ。忘れないでください。さて、(C) のような誤文はどう訂正すればよいのか、類似例で説明しよう。

You study English hard is recommended. (×)

That you study English hard is recommended. (○)

**S** **V**

(英語を懸命に勉強することが奨励されている)

やや形は悪いがこの英文は文法的に正しい。That (接続詞) を付け加えることで That ~ hard の部分が is (V) の主語として働く名詞節となることができる。頭デッカチでカッコ悪いから、実際の場合では形式主語の It を使って以下のように言い換えることも多い。

It is recommended that you study English hard.

以上のことから、3 番の正解は (B)。

That Betsy Ross made the first United States flag is widely believed.

**S** **V**

(A) When も (D) If も接続詞だが、「～ということ」という意味になる名詞節を作ることはできない。

正解	問題文和訳
(B)	「最初の合衆国旗をベッツィー・ロスが作ったということは広く信じられている」

# Crux 1

## FANBOYS って何？

「英文はカンマだけではつなげない」と Powerful Code 2 はキッパリ告げた。じゃあ、英文はどうやってつなげばいいんだと困り果てた人のために、ここで少し「実力のふるさと」、つまり基礎に帰ってみます。Powerful Code 1 が言うように、「英文には必ず動詞（述語動詞）があるわけだから、英文をつなぐということはつまり《動詞を含む固まりをつなぐ》ということ」、簡単に記号で言うと **SV** ～と **SV** ～を連結することですね。そこで Code 2 いわく「**SV** ～, **SV** ～はダメ」となるわけです。

### 英文のつなぎ方 ABC

#### (A) FANBOYS で対等につなぐ

FANBOYS とは下の例文から明らかなように、英文を対等につなぐ等位接続詞の頭文字 **F** (for) ・ **A** (and) ・ **N** (nor) ・ **B** (but) ・ **O** (or) ・ **Y** (yet) ・ **S** (so) をつなぎ合わせて作った acronym (頭字語) です。アメリカの高校で授業を何回か見せてもらった折に、ある先生が使われたのがこの FANBOYS。だから、これはマネッコです。ただし FANBOYS の **S** (so) は勝手に筆者が加えました。

She hates me, **but** I love her.

**S V O S V O**

単文 接続詞 単文

(彼女は僕をひどく嫌っているが、僕は彼女を愛している)

She missed the class, **for** she caught cold.

単文 接続詞 単文

(彼女は授業を休んだ。というのは風邪を引いたから)

He was tired, **so** he went to bed early.

単文 接続詞 単文

(彼は疲れていた。だから早く寝た)

She went shopping, **and** he cleaned the house.

単文                  接続詞                  単文

(彼女は買い物に出かけ、そして彼は家を掃除した)

He was boiling mad, **yet** he listened to her.

単文                  接続詞                  単文

(彼はかんかんに怒っていたが、彼女の言うことに耳を傾けた)

Freeze, **or** I will shoot you.

単文 接続詞                  単文

(動くな、さもないと撃つぞ)

He didn't know the truth, **nor** did he want to.

単文                  接続詞                  単文

(彼はその真相を知らなかったし、知りたくもなかった)

### (B) that (接続詞) で差をつけてつなく

(A)と違って2文が各々、主節と従属節という差のある役割を全体の中で果たす場合。下の例だと、I know の目的語 (       の部分) の中にまた **S'V'** があるから、やや複雑です。故に複文と言います。

I know that he plays golf.

**S**   **V**   that S' V' O'

**O**

(私は彼がゴルフをすることを知っています)

I don't know if he will come soon.

**S**   **V**   if S' V'

**O**

(私には彼がすぐ来るかどうかわかりません)

上のifは「もし～ならば」ではなく、「～かどうか」という意味。I don't know (**SV**) の目的語 (目的語だから名詞節) を引っ張ってくる接続詞です。



(C) 「時」の when や「条件」の if などで、かかるようにつなぐ

when, if 「もし～ならば」をはじめ, as soon as, after, before, until, as, because, as long as, once, by the time など, 従属節が主語にかかるように2文をつなぐ場合です。接続詞と言っても複数の語の組み合わせの場合もありますよね。as soon as とか by the time とか。

John and Ron were singing when the ceiling fell down.



He started the engine as soon as he saw me.



We will go out if it is fine tomorrow.



(A)(B)(C) 以外で、つまり接続詞の他に文をつなぐものがあるとすれば、後は関係詞くらいでしょう。

📌 接続詞と混同しがちな副詞

then(そのとき), therefore(それ故), however(しかしながら), nevertheless(にもかかわらず)などは副詞なので、これらの語で英文をつなぐことはできない。つまり、そのまま実行するとカンマで英文をつないだのと同じことになり×。訂正するには、さらに接続詞が必要となる。

Isaac missed the train, therefore he was late. (×)

Isaac missed the train, and therefore he was late. (○)

(アイザックは電車に乗り遅れた、それ故彼は遅刻した)

Ron thought it would snow, nevertheless he went on a trip. (✕)

Ron thought it would snow; nevertheless he went on a trip. (○)

(ロンは雪が降るだろうと思ったが、それでも旅行に出かけた)

2文ともまったく同じに見えるが、よく見ると下の英文はカンマではなく接続詞の代用ができるセミコロンでつながれている。

今、約 350 題の問題を解き終えて、手応えはいかがですか？ 本書を通して僕らはただやみくもに TOEFL ITP® TEST Structure and Written Expression に挑んだわけではありません。常に実戦を想定し、手持ちの英語力（文法・語法・語彙）を最大限に活用しながら素早く、そして的確に、正解へ到達する術（すべ）を追求してきました。手荒く言えば「解けない文法学者」より「解けるド素人」を目指してきたわけです。本書に筆者が盛り込んだ **Powerful Code** による解法は、一見シンプルなものばかりですが、長年にわたって自分で解き、生徒さんたちの疑問に対する反応を見、修正を加えながら、より効果的なものへと磨き上げてきたものばかりです。いわば筆者と生徒さんたちで作り上げた TOEFL の文法パーフェクトへの「覚書」みたいなものです。だから、実戦にそぐわない無駄なものはひとつもありません。頭の中ででっち上げた小手先のテクニックとも無縁です。これから先、読者の皆さん各々が、自分の苦手なコードを中心に繰り返し **REVIEW** されることによって今までボンヤリとしか見えなかった TOEFL の文法満点への道が、「解ける」という実感と共にはっきりと見えてくると思います。そうになったら、筆者の連日の徹夜も少し報われるかな。

Break a leg!

林 功

## 参考文献

---

- Berry, Thomas E. *The Most Common Mistakes in English Usage*. McGraw-Hill Book Company, 1986.
- Compton's Interactive Encyclopedia Deluxe*. SoftKey Multimedia Inc., 2001.
- Longman Dictionary of American English*. Addison-Wesley Pub. Co., 2000.
- Microsoft Encarta 2001 Encyclopedia*. Microsoft Corporation, 2001.
- Shogakkan Progressive English-Japanese Dictionary*. Shogakkan, 1998.
- Swan, Michael. *Practical English Usage*. Oxford University Press, 1995.
- Taishukan's Genius English-Japanese Dictionary*. Taishukan Publishing Co., Ltd., 1997.
- Thomson, A. J. *A Practical English Grammar*. Oxford University Press, 1986.
- TOEFL POWERPREP software*. Educational Testing Service, 2000.
- TOEFL Practice Tests Volume 2*. Educational Testing Service, 2000.
- TOEFL Sampler: An Introduction to Taking the TOEFL Test on Computer*. Educational Testing Service, 1998.
- TOEFL Test Preparation Kit: Workbook*. Educational Testing Service, 1998.
- 林 功. 『CD-ROM 付き TOEFL® Test 問題と徹底対策』 ベレ出版, 2000.
- 林 功. 『TOEFL® Test 英文法徹底対策』 ベレ出版, 2002.
- 林 功. 『TOEFL® Test ITP 文法問題対策満点マニュアル』 南雲堂フェニックス, 2007.

林 功 (はやし・いさお)

早大一文中退。サザン・イリノイ大英文科卒。ワシントン大大学院比較文学科修士課程修了 (MA)。現在、留学試験専門学校 LINGO L.L.C. 代表。筑波大大学院共通講座客員講師。長年にわたって、高校生からビジネスマンまで、TOEFL テスト対策を中心に英語を教え続け、「ヒゲの林」の愛称で親しまれている。今では 10,000 人以上の教え子が国内外で活躍中。

主な著書に、『CD BOOK TOEFL® TEST 必須英単語 5600』『TOEFL® TEST 英文法徹底対策』『CD BOOK TOEFL® iBT 頻出英単語 1700』『CD BOOK アメリカの中学教科書で英語を学ぶ (正・続篇)』『CD BOOK 英語の出し入れ実践トレーニング』(以上、ベレ出版)、『TOEFL® Test ITP 文法問題対策満点マニュアル』(南雲堂フェニックス)、『ETS 公認ガイド TOEFL® iBT CD-ROM 版 (監訳)』(ETS/McGraw-Hill) などがある。そのほか、アルクや毎日ウィークリーなどの英語学習誌に TOEFL 対策を中心にユニークな英語学習法などを執筆。

### 留学試験対策専門学校

LINGO L.L.C. We respect what makes man man.

正規留学という各受講生の夢実現と真の英語運用力習得を可能にする PC を使った少人数徹底指導。

TOEFL ITP 500/550/600 クラス

TOEFL iBT 45 & TOEFL iBT 65 クラス

TOEFL iBT 80 & TOEFL iBT 100 クラス

併設：IELTS (Academic/General) クラス

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9-20 新小川町ビル 3F

TEL 03-5206-1528 FAX 03-5206-1529 <http://www.lingollc.com>

【JR・地下鉄飯田橋駅より徒歩 7 分】

© Isao Hayashi, 2012, Printed in Japan

## 全問正解する TOEFL ITP® TEST 文法問題対策

2012 年 6 月 1 日 初版第 1 刷発行

著者 林 功  
制作 ツディブックス株式会社  
発行者 田中 稔  
発行所 株式会社 語研  
〒101-0064  
東京都千代田区猿楽町 2-7-17  
電 話 03-3291-3986  
ファクス 03-3291-6749  
振替口座 00140-9-66728

組 版 ツディブックス株式会社  
印刷・製本 日経印刷株式会社

ISBN978-4-87615-253-7 C0082

書名 ゼンモンセイカイスル トーフルアイティービーテスト  
ブンボウモンダイタイサク

著者 ハヤシ イサオ

著者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。

乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社語研



語研ホームページ <http://www.goken-net.co.jp/>



全問正解するTOEFL ITP® TEST文法問題対策

ためし読みはここまでです。

Webページへ

